

栃木県知事 福 田 富 一 様

2018年8月28日

日本共産党栃木県委員会

委員長 小 林 年 治

日本共産党栃木県議団

代 表 野 村 せつ子

### 米空軍オスプレイ機の県上空の飛行に関する申し入れ

8月22日、10月から米軍横田基地に米空軍の特殊作戦機CV22オスプレイ5機が配備されることが判明しました。CV22オスプレイは、すでに6月下旬から同基地に駐留しており、初飛来から21日までに、同基地での離発着回数は300回を超え、横田基地を拠点とした訓練を常態化させています。栃木県内では、7月24日午後3時20分ごろ、大田原市上空を2機のオスプレイが飛行していたことを下野新聞が報道し、日本共産党栃木県委員会にも同日午後3時10分ごろ栃木市の出流山満願寺北方を飛ぶ2機のオスプレイの目撃情報が寄せられました。また、8月13日から15日にかけて、鹿沼市、宇都宮市、さくら市、那須塩原市などの上空を2機のオスプレイが飛行しているという目撃情報がSNSに数多く投稿され、20日以降も目撃されています。目撃した県民は「低空で轟音をたてて飛んでいた」と話しています。

防衛省北関東防衛局の横田基地周辺の関係自治体への情報提供によると、24日のCV22オスプレイ2機の飛行は、横田基地から青森県の三沢基地への飛行であることが判りました。また南関東防衛局は、CV-22オスプレイが8月13日（月）から同月17日（金）までの間、東富士演習場において離発着訓練を実施する可能性があること、計画は天候等により変更の可能性があることを通知しました。これらのことから、①横田基地から三沢基地へのCV22オスプレイの飛行ルートが栃木県上空を通ること、②横田基地から東富士演習場周辺の天候の状況などによっては、栃木県上空がCV22オスプレイの訓練空域になる可能性があると考えられます。

このように頻繁に県上空を通過する訓練を実施しているオスプレイが正式配備されれば、墜落等の危険が増すばかりです。絶対に容認することはできません。ついては、県民のいのちと安全を守る立場から、つぎの点を要望します。

#### 記

1. 在日米軍横田基地への米空軍CV22オスプレイの配備に反対すること。
2. CV22オスプレイの訓練中止を米軍に申し入れるよう国にはたらきかけること。
3. 県内上空を通る、横田基地から三沢基地への飛行ルートを明らかにするよう国に申し入れること。
4. 横田基地から埼玉、群馬、栃木、福島上空にまたがることが予想されるCV22オスプレイの訓練空域、飛行ルートを明らかにするよう国に求めること。
5. 防衛省北関東防衛局にたいしCV22の飛行情報の提供を求め、県のホームページに掲載するなど、広く県民に情報提供すること。

以上

